

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2023 年 6 月 9 日から 6 月 12 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として 2023 年の日米相場予想とご自身の投資状況等について調査しました。（当社ウェブサイトへの掲載日は、2023 年 6 月 27 日です）

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、2009 年 11 月から 2016 年 3 月までは月次で、2016 年 4 月から 2016 年 12 月までは隔月、2017 年 3 月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

また、グループ会社であるトレードステーション証券（米国）、マネックスBOOM証券（香港）の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています。

## ■調査結果

### 【特別調査】

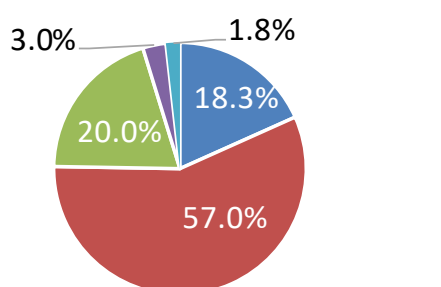
#### 1. 2023 年日経平均株価とダウ平均株価の高値安値予想

特別調査の1つ目として、2023年の日経平均株価、ダウ平均株価の高値安値予想を調査しました。

#### 1-1. 2023年の日経平均株価の高値は「32708.53円以上36,000円未満」が最多。2023年の日経平均株価の安値は「25,661.89円（2023年1月4日の安値）」が最多。

【6月23日の終値：32,781.54円】

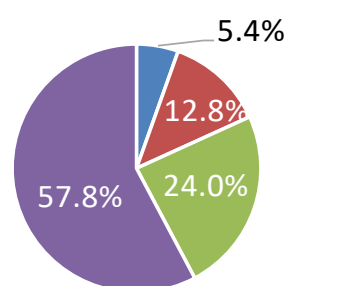
グラフ1-1：2023年日経平均株価高値予想



- 32,708.53円(2023年6月7日の高値)未満
- 32,708.53円以上36,000円未満
- 36,000円以上38,915.87円未満(過去最高値)
- 38,915.87円以上42,000円未満
- 42,000円以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ1-2：2023年日経平均株価安値予想



- 19,000円未満
- 19,000円以上22,000円未満
- 22,000円以上25,661.89円未満
- 25,661.89円(2023年1月4日の安値)

(出所)マネックス証券作成

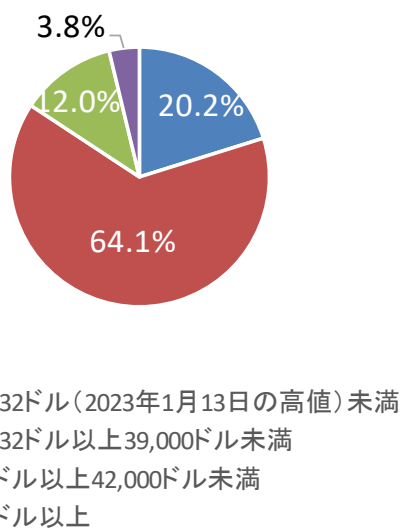
2023年の日経平均株価の高値、並びに安値の予想を調査しました（調査開始日6月9日の日経平均株価終値は32,265.17円）。2023年の高値予想は、「32,708.53円以上36,000円未満」が今年の高値になるという割合が57.0%と最も高くなりました。続いて「36,000円以上38,915.87円未満(過去最高値)」も20.0%で今後一段高となる予想をしている投資家の割合が高くなっています。

2023年の安値予想については「25,661.89円（2023年1月4日の安値）」との割合が最も高く、ある程度堅調な相場つきを予想する投資家が多いようです。

1-2. 2023年のダウ平均株価の高値は「34,342.32ドル以上 39,000ドル未満」が最多。2023年のダウ平均株価の安値は「29,000ドル以上 31,429.82ドル未満」が最多。

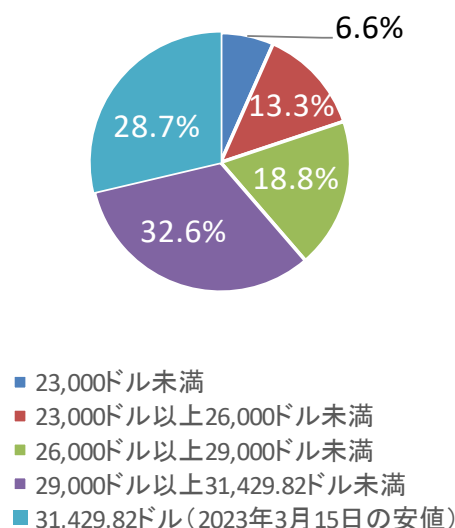
【6月23日のダウ平均株価の終値：33,727.43ドル】

グラフ1-3：2023年ダウ平均株価高値予想



(出所) マネックス証券作成

グラフ1-4：2023年ダウ平均株価安値予想



(出所) マネックス証券作成

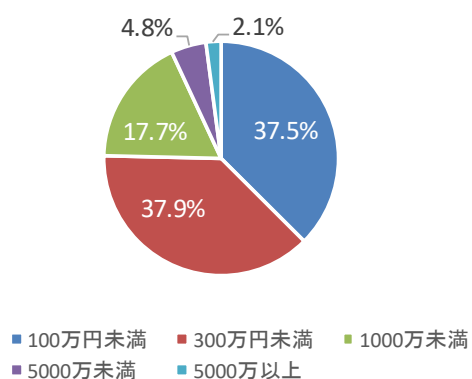
2023年のダウ平均株価の高値、並びに安値を調査しました（調査開始日6月9日終値は33,876.78ドル）。2023年の高値予想は「34,342.32ドル以上 39,000ドル未満」が64.1%と最も高く、今後の株価上昇を見込む投資家が多いことがわかりました。

2023年の安値予想については「29,000ドル以上 31,429.82ドル未満」の割合が最も高く、一定の株価調整を見込む投資家が多いことがわかりました。

## 2. 2023年の投資状況と売却行動について

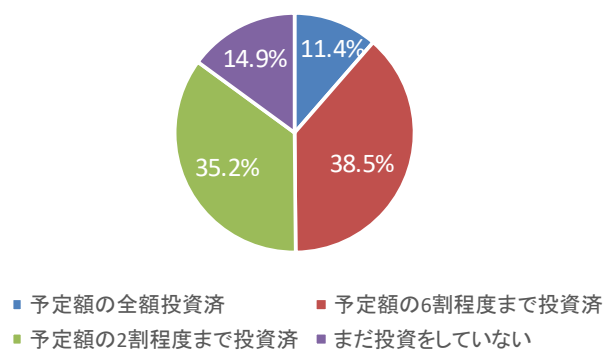
特別調査の2つ目として、2023年の投資状況と、売却行動について調査しました。

グラフ2-1：2023年の投資予定金額



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-2：2023年の投資予定の進捗状況



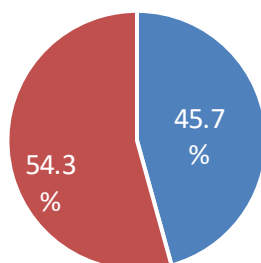
(出所) マネックス証券作成

## 2-1. 2023 年の投資予定金額と進捗状況

2023 年の投資予定額とその進捗状況を調査しました。投資予定額については、「300 万円未満」と回答した投資家の割合が 37.9%と最も高く、続いて「100 万円未満」が 37.5%と 2 番目に高くなりました。進捗状況については、「予定額の 6 割程度まで投資済」との回答が 38.5%と最も多く、続いて「予定額の 2 割程度まで投資」が 35.2%、「まだ投資をしていない」が 14.9%となりました。まだ一定の投資余力を残している投資家が 89%近くいることとなり、今後も年後半に向け個人投資家の買い需要が期待できそうです。

## 2-2. 自分はどちらのタイプ？ 「売却する派」と「売却しそびれる派」

**グラフ2-3: 売却はどちらのタイプ？**



- 結果はどうかあれ思い立ったら売却を実行する。
- 結果はどうかあれ売却タイミングを模索しているうちに実行できないことが多い。

(出所) マネックス証券作成

株式・投資信託等の投資商品の売却をするにあたって、ご自身が「投資成果に関わらずしっかりと売却を実行できることが多い」のか「投資成果に関わらず売却しそびれることが多い」か、どちらのタイプに該当すると思うかをたずねました。後者の「結果はどうかあれ売却タイミングを模索しているうちに実行できないことが多い」と回答した投資家の割合が 54.3%と多くなりました。迷っているうちに売りそびれてしまう投資家の方が多いようです。

### 【定例調査～個人投資家の相場観について～】

## 3. 日本、米国、中国の DI について

今後 3 ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本と米国が前回調査（2023 年 3 月）から大幅に好転しました。日本株や米国株の株高が見通しを改善させたと考えられます。一方で中国は前回調査から大きく悪化しています。

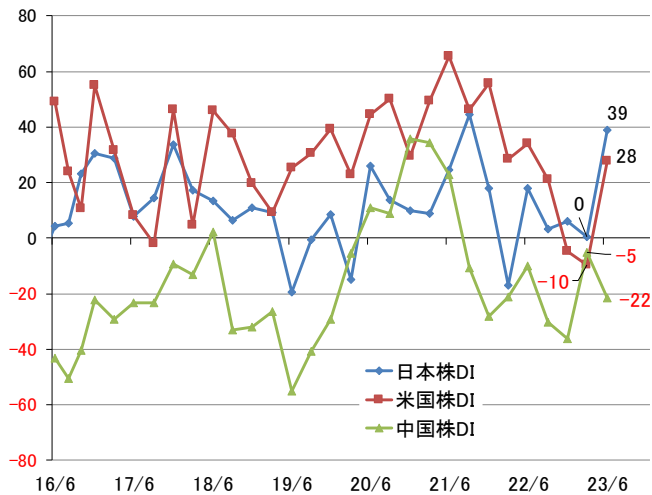
【日本株 DI】（2023 年 3 月） 0 →（2023 年 6 月） 39（前回比 +39 ポイント）

【米国株 DI】（2023 年 3 月） -10 →（2023 年 6 月） 28（前回比 +38 ポイント）

【中国株 DI】（2023 年 3 月） -5 →（2023 年 6 月） -22（前回比 -17 ポイント）

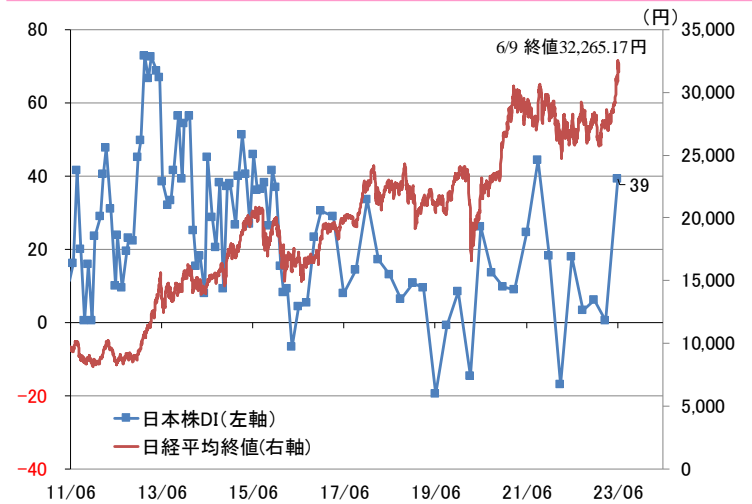
※ DI: DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

グラフ3-1: 今後3ヶ月程度の株価予想



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



(出所) マネックス証券作成

#### 4. 為替市場について

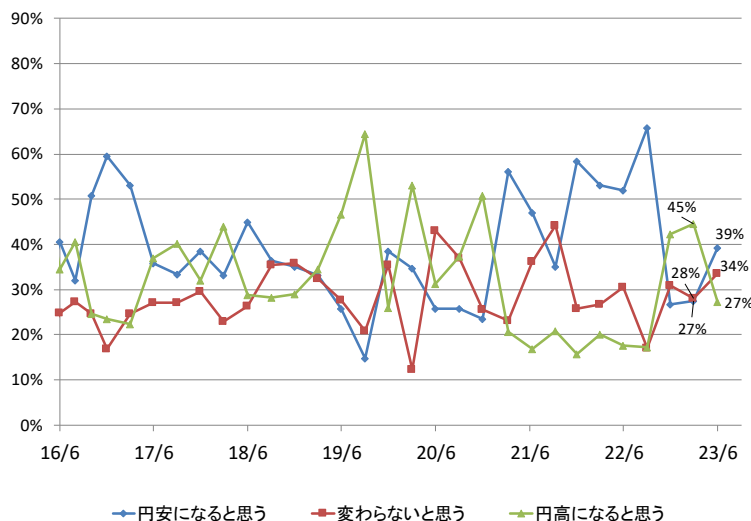
今後3ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しについてたずねました。「円安になると思う」が前回比+12%で39%となりました。「変わらないと思う」の回答の割合も前回調査からはプラス、「円高になると思う」の回答の割合は前回調査から大幅にマイナスとなりました。

【円安になると思う】(2023年3月) 27% → (2023年6月) 39% (前回比+12%)

【変わらないと思う】(2023年3月) 28% → (2023年6月) 34% (前回比 +6%)

【円高になると思う】(2023年3月) 45% → (2023年6月) 27% (前回比-18%)

グラフ4: 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場予想



(出所) マネックス証券作成

## ■総括（マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

今回は 2023 年の株価予想や投資状況について調査を行いました。

日経平均は 4 月下旬から上昇を開始し、あれよあれよという間に 3 万円を回復、その後も上昇ペースは衰えずに 6 月 16 日時点で 33,706 円をつけています。昨年末時点では 26,094 円でしたので、実に 30% 近くも上昇していることになります。

上昇の要因は「日本企業の堅調な本決算」「岸田政権の支持率安定化」「円安進行による輸出企業の業績下支え期待」など様々あると思いますが、これらに加えて私は「ウォーレン・バフェット氏による日本株買い増し表明」が最も大きな要因の 1 つではないかと考えています。投資家の世界で知らない人はいないほどの著名人が日本株に対してポジティブな発信をしたとなれば、世界中の投資家の日本株や日本経済に対する見方が変わっても不思議はありません。

あまりに日経平均の上昇ペースが急だったこと、また一部の大型株が集中的に買われたことから、この上昇に乗り遅れてしまったという投資家も多いかもしれません。もし上昇に乗れていないという方も、焦って「とにかくなんでもいいから株を買おう」とか「怖いから早く売ってしまおう」というようなことは避けていただいたほうが良いと思われます。個別株投資をされている方はこうしたときこそ、売買対象銘柄の業績や売買タイミングを吟味いただき、高値つかみや早すぎる手仕舞いにならないよう注意なさってください。

当社では、チーフ・ストラテジストの広木隆の「ストラテジーレポート」やシニア・マーケット・アナリストの金山敏之の「投資のヒント」などで銘柄情報を発信しております。また、ご自身で銘柄を深堀りいただくために、「銘柄スカウター」というファンダメンタルズ分析ツールをご用意しておりますので、ぜひご活用ください。

今月の調査では、まだ今年の投資余力を残しているという個人投資家が非常に多いことがわかりました。そういった方の投資対象の選定や投資成果向上のサポートとなるよう、今後も質の高い情報発信やサービスの拡充に努めてまいります。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

2023 年 6 月 16 日執筆

## ■調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 1,011  
 調査期間： 2023年6月9日～6月12日

### 【性別】

男性	女性	回答しない
79.7%	17.8%	2.5%

### 【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	80歳以上
0.1%	1.9%	13.0%	23.8%	33.5%	18.4%	7.6%	1.7%

### 【金融資産】

500万円未満	500万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円以上
20.8%	17.8%	19.0%	23.3%	12.6%	6.5%

### 【売買頻度】

デイトレード	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
3.6%	12.9%	30.7%	27.9%	25.0%

### 【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年以上
4.6%	21.9%	20.2%	53.3%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・ グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも100.0%とならない場合があります。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
 一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会